

医師が教える「美・健康ナビ」

医師による美と健康に役立つアドバイス「美・健康ナビ」を毎月1回、シリーズで連載しています。

第34回

気になる汗と臭いの治療法
「増える選択肢医師に相談を」

汗が増える季節になり、わきの下の不快な臭いや衣服の染みが気になりますね。汗腺は2種類あり、運動を行ったときなどに出る汗は、ほぼ全身にあるエクリン腺から放出されます。一方、「わきが」のよくな嫌な臭いのする汗はアポクリン腺からのものです。アポクリン腺はわきの下、陰部付近など特定部位にあり、雑菌や脂肪酸と混ざって特有の臭いを発します。

わきがが治療の選択肢は増えています。保険適応の剪除法は、わきを切開し、皮膚の内側からアポクリン腺を取り除きます。効果は高いとされますが、術後に長い安静が必要で、感染症や傷痕などの問題もあります。エクリン腺は皮膚表面近くにあるため、剪除法は適しません。多汗症の場合は、汗腺の働きを止める注射や、汗の量を抑制する飲み薬を用います。両方の汗腺に効果があるのは、マイクロ（電磁）波を利用して皮膚表面から汗腺を破壊する方法で、切らなくてよいのがメリットです。悩みや症状を医師に相談し、最適な治療法を選択してください。



こうしょう
木下 孝昭先生

医療法人社団 孝昭クリニック院長
医学博士